

第 19 回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時：平成 31 年 3 月 15 日(金)10:00~11:20

場所：KKR 甲府ニュー芙蓉 2F 広間

■委員会出席者

早稲田大学理工学術院

創造理工学部社会環境工学科 教授

(一社) 山梨県タクシー協会 会長

(一社) 山梨県バス協会 専務理事

山梨経済同友会 代表幹事

(一社) 日本自動車連盟山梨支部 事務所 長

(一社) 山梨県交通安全協会 専務理事

山梨県警察本部交通部交通規制課 課長

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局

首席運輸企画官

中日本高速道路(株)八王子支社

企画調整チーム担当リーダー

交通管制チームリーダー

甲府保全・サービスセンター 所長

山梨県観光部観光企画課 課長

山梨県県土整備部道路整備課 課長

山梨県県土整備部道路管理課 課長

国土交通省甲府河川国道事務所 所長

国土交通省関東地方整備局道路部

佐々木 邦明 (委員長)

雨宮 正英

(代理：専務理事 志村 宏文)

中谷 晃

入倉 要

道場 明

(代理：事業係長 丹沢 英之)

北村 正彦

川口 守弘

(代理：規制管理官 伊藤 政貴)

渡邊 太郎

中岡 毅

(代理：企画調整チームサブリーダー 橋 創平)

折野 好倫

今井 猛

(代理：副所長 大谷 直広)

古谷 健一郎

(代理：政策企画監 今泉 俊彦)

清水 敬一郎

(代理：道路企画監 五味 幸仁)

小島 一男

安谷 覚

高橋 哲 (オブザーバー)

■議事内容

<規約改正>

- ・委員会規約改正について

<渋滞対策>

- ・委員会の検討経緯と今回の論点
- ・前回委員会意見への対応
- ・当該年度に実施した対策の状況
- ・次年度に実施する渋滞対策の方針
- ・道路利用者会議からの渋滞対策要望箇所の概要

<交通安全対策>

- ・本委員会の論点
- ・前回委員会(第18回)の振り返り
- ・事故危険区間の交通安全対策事業の進捗報告
- ・新規対策検討箇所の事例紹介
- ・今後のスケジュール

■審議結果

●渋滞対策関係

<決定事項>

- ・主要渋滞箇所245箇所を10年間で対策するため、1年間で25箇所程度ピンポイント対策を実施することで了承を得た。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・新町二丁目の旅行速度を選定時と平成29年で比較すると、速度が速くなっているデータが多いが、何か対策をされたのか、それとも自然に渋滞が解消されたのか。

【事務局回答】

- ・状況についてビックデータ等で分析を行い、次回報告を行いたい。しかし、20km/h以下の状況が依然続いているため、追加対策等の検討をしていくことが必要と考えている。

【委員長】

- ・選定時と比べると速度が改善しているようだが、交通量が大幅に減ったとは思えないため、ハード対策以外のところについても検討を進めていただきたい。

【質問・意見】

- ・船山橋北詰交差点のみ、信号現示変更には○が付けられているが、他の交差点も信号処理がされており、信号現示の変更が可能なのではないか。

【事務局回答】

- ・船山橋北詰交差点は、信号現示を変えたときに効果が期待できるということで○を付けている。この交差点では従道路側の交通容量に余裕があり、信号現示を変えることにより、本線の渋滞改善が期待できると考えられる。

【質問・意見】

- ・道路整備・改良や信号改良を実施するだけでなく、時差通勤などのソフト対策も検討しているのか。

【事務局回答】

- ・前回委員会でソフト対策として、大規模商業施設周辺道路において空いている道路に交通を流し、分散させるといった経路案内について提案した。区画線改良などといった対策だけでなく、ソフト対策も合わせて検討していきたい。

【委員長】

- ・道路ネットワークから代替経路といったことも、周辺道路の状況などを十分踏まえて検討していくことが必要と思われる。

【質問・意見】

- ・山梨県内の VICS 情報がどのようになっているか、事務局では把握はされているか。

【事務局回答】

- ・VICS の情報によって経路がどのように変わっていくのか、分析ができるのかということも含めて、検討させていただきたい。

【質問・意見】

- ・渋滞車両を分散させるにあたり、広い範囲で考えないと、住宅街の中に車が入ってきて、事故危険性の増加原因になるうるため、慎重に検討すべきである。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・事故危険区間の事業進捗状況報告及び新規対策検討箇所の事例紹介を行い、内容について了承された。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・今年の4月から駿台甲府中学校が上今井町から塩部に移転する。既に甲府工業高校、駿台甲府高校の2000~3000人が自転車を中心に通学しているところに、さらに500人の中学生が増えることになるため、4月の移転後は混乱が想定される。複数の学校が存在するため、連携が必要であると考えられるので、ぜひ、行政やこういった安全委員会で主導権をとり、対策の提案をしていただければと思う。

【事務局回答】

- ・今後、何ができるか検討したい。

【質問・意見】

- ・一本木交差点改良事業について、富士吉田方面にはバスベイが新設されたが、静岡方面にはバスベイがない状態である。急減速データを見ると右折阻害がなくなったにも関わらず整備後も交差点の先に急減速が発生しているが、バスが原因なのか。

【事務局回答】

- ・今後、バスの運行時間と急減速の発生時間との関連を確認し、原因を確認したい。

【質問・意見】

- ・増穂 IC の誤進入対策について、今後追加対策を行っていただくということで、期待している。設置後の誤進入の状況を見ていきたいので、情報共有をお願いしたい。また、高速道路会社では、誤進入の対策を2020年にかけて全インターチェンジで実施・強化する計画としている。内容は、一般道との接続部について、高速の入り口であることの明示、注意喚起を行っていく予定である。一般道との接続部であるため、一般道の道路管理者との協議、また対策にあたっては交通管理者である山梨県警にも相談させていただきながら進めていくので、調整の際にはご理解・ご協力をお願いしたい。

【質問・意見】

- ・増穂 IC の誤進入対策については、対策後の効果を委員会においてご報告いただきたい。

【事務局回答】

- ・誤進入対策の内容、対策後の効果について、今後、情報共有させて頂く。

(委員会の状況)

